

# 日本工業規格 木造校舎の構造設計標準（JIS A 3301）の改正 及び技術資料の策定について（案）

平成27年3月

文部科学省では「木造校舎の構造設計標準の在り方に関する検討会」（座長：長澤悟 東洋大学名誉教授）において平成25年3月に取りまとめられた報告書を踏まえ、木造校舎の構造設計標準（JIS A 3301）の改正及びその技術資料を策定した。

※写真はイメージでありJIS A 3301を用いて建築した例ではない。

## 1. JIS A 3301の改正

このたび、日本工業規格である木造校舎の構造設計標準（JIS A 3301）について、昭和31年に制定して以来、初めて全面改正した。

このJIS A 3301は、建築基準法施行令第48条第2項第二号に規定する「国土交通大臣が指定する日本工業規格」として指定されている。



### ○JIS A 3301改正の主な内容

- ①ユニットの形状の種類を増やし、従来からの片廊下型をAタイプとし、そのほかに、廊下と一体となったオープンスペースをもつBタイプ、中廊下型をCタイプ、大部屋型をDタイプとして追加。
- ②ユニットの各タイプごとの室の大きさの種類を増加。
- ③荷重条件の設定を見直し、各級の設定は積雪荷重条件に基づいて1級～4級とした。固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力の算定基準等は現行の建築基準法令に対応。
- ④構造部材の使用材料は、製材のほか、軸組材料には構造用集成材、面材料には構造用合板を追加。
- ⑤耐力壁の仕様は、今回のユニット平面の壁配置において必要な耐震耐風性能を満足し得るだけの高い許容せん断耐力をもつ筋かい耐力壁及び構造用合板張り耐力壁を用意。
- ⑥水平構面は、厚物の構造用合板を横架材に直張りする仕様。
- ⑦軸組各部の接合仕様については全面的に見直し。

## 2. JIS A 3301を用いた木造校舎に関する技術資料の策定

### ○技術資料の構成

#### 第1章 JIS A 3301による木造校舎の建築計画

- ・防耐火に係る法規制の扱い（建築基準法）
- ・ユニットの組合せの留意点
- ・木造校舎で留意する耐久性・音環境・断熱性能等の基本情報

#### 第2章 JIS A 3301による木造校舎の構造設計

- ・構造仕様についての計算根拠や留意点の明示

#### 第3章 JIS A 3301を用いた木造校舎の設計例

- ・平屋建て及び2階建ての設計例（意匠、構造）
- ・ユニットプランの組合せ例

#### 別冊 構造計算書

- ・第3章の構造設計例に用いた構造計算を例示として紹介

技術資料は、JIS A 3301をより使い易くするためにJIS改正時の考え方や実験データ、留意事項、具体的な設計例及び構造計算例等を取りまとめたもので、JIS A 3301を適用し設計する際の解説書として策定した。

また、JIS A 3301を用いて設計し建築する際に必要となる建築基準法に基づく建築許可申請（確認申請）の構造根拠資料にも参考として活用できるよう構成した。



## 3. JIS A 3301の改正及び技術資料の策定に伴い期待される効果

- ①木の学校づくりを進めることにより、木材の持つ柔らかく温かみのある感触や優れた調湿効果が、豊かで快適な学習環境を成形。
- ②地域材や地元職人の技術の活用による、地場産業の振興や地域経済の活性化。
- ③学校の校舎等を含む大規模木造建築物の設計等の技術者育成に寄与。
- ④上記①～③により、学校施設における木材利用を一層促進。

JIS A 3301及び技術資料については、以下のホームページより閲覧できます。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/](http://www.mext.go.jp/b_menu/).....